

(13) 就実大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2026年 4月 8日(水)	～	2026年 7月 29日(水)
	後期	2026年 9月 24日(木)	～	2027年 1月 22日(金)
試験期間	前期	2026年 7月 30日(木)	～	2026年 8月 5日(水)
	後期	2027年 1月 25日(月)	～	2027年 1月 29日(金)
授業時間	1限	9:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



JR山陽本線・赤穂線

JR山陽本線・赤穂線「西川原駅」下車徒歩1分
「西川原駅」は通称「西川原・就実駅」です。

③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階
電話	086-271-8120

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（ 申込受付期間が異なりますので留意してください ）

前期受付:2026年3月3日(火)～3月31日(火)
後期受付:2026年7月1日(水)～9月7日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。(受入大学訪問時)
 - 学年暦
 - 就実キャンパスガイド
 - 単位互換履修生証（ 最終講義終了後、教務課へ返却が必要です ）
 - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

対面授業				13001
古典文学研究 1			瓦井 裕子	
Study on Classic-literature 1				
2~4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 文学史は散文作品に偏りがちだが、文学の王道であり続けたのは韻文である。韻文の変遷を辿ることは、文学史を理解するために必須である。本科目では、平安時代の和歌と詠作の場を取り上げ、和歌を詠むということが平安時代においてどのような意味を持っていたのかを考えたい。</p>				
<p>【授業内容】 歌合と百首歌という二つの形態に焦点を絞り、それぞれの変遷を辿ることによって、平安時代における和歌の在り様を明らかにしていく。</p> <p>1. 授業ガイダンスと和歌についての概要 2. 和歌を詠む場と決まり事 3. 和歌の技法 4. 百首歌(1) - 初期百首 5. 百首歌(2) - 女流百首 6. 百首歌(3) - 堀河百首 7. 百首歌(4) - 院政期百首① 8. 百首歌(5) - 院政期百首②</p> <p>9. 歌合(1) - 天徳内裏歌合 10. 歌合(2) - 小規模歌合 11. 歌合(3) - 摂関期歌合 12. 歌合(4) - 高陽院歌合 13. 歌合(5) - 院政期歌合 14. 歌合(6) - 六百番歌合 15. まとめとテスト</p>				
<p>【テキスト】 適宜、配布する。</p>				
<p>【参考図書】 適宜、指示する。</p>				
<p>【成績評価の方法】 テスト 70% / 授業態度 30% テストは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する基本的な知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。 授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。</p>				
<p>【備考欄】</p>				

対面授業				13002																
古典文学講義 2			川崎 剛志																	
Japanese Classical Literature 2																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。																				
【授業内容】 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。																				
<table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲麿</td> <td></td> </tr> </table>					1. 和歌とは？	9. 喜撰法師	2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平	3. 天智天皇	11. 素性法師	4. 持統天皇	12. 大江千里	5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔	6. 山辺赤人	14. 坂上是則	7. 猿丸大夫	15. まとめ	8. 安倍仲麿	
1. 和歌とは？	9. 喜撰法師																			
2. 『百人一首』の成立と受容	10. 在原業平																			
3. 天智天皇	11. 素性法師																			
4. 持統天皇	12. 大江千里																			
5. 柿本人麻呂	13. 中納言兼輔																			
6. 山辺赤人	14. 坂上是則																			
7. 猿丸大夫	15. まとめ																			
8. 安倍仲麿																				
【テキスト】 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、704 円																				
【参考図書】 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム)																				
【成績評価の方法】 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 20%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。																				
【備考欄】 「古典文学講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「古典文学講義1」を履修しておく必要はない。																				

対面授業			13003	
古典文学研究 3			竹内 洪介	
Japanese Classical Literature 3				
2～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 近世はサムライの時代である。徳川家康が戦国時代に終止符を打って江戸に幕府をひらいてから徳川慶喜が幕末の動乱のなかで大政を奉還するまでの 260 年間、サムライは日本を支配していた。当初は中世以前の軍記類の文化を継承し、新たな近世軍記を創出したが、のちに出版文化が興隆するにおよんで、幕府は軍記・軍書の類に統制をくわえた。 そうした中であっても、江戸の文化は幕末期に至るまでサムライの文学を生産し続けた。ならば、軍記・軍書は近世の文芸史上にあってどのように発展していったのか。書物問屋と地本問屋の違い、出版統制などの法的側面にも注目し、また国学などの学問的世界・幕閣の情勢にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p>				
<p>【授業内容】 近世期における軍記・軍書の展開をたどる。仮名草子・浮世草子・俳諧・読本・草双紙・浄瑠璃など多ジャンル文芸の特徴を、軍記の側面から見つめる。時代的背景、浮世絵などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から軍記の諸特徴を把握するとともに、近世期における軍記・軍書がいかなるものであったか、その諸要素はどのように推移し、変容したかという問題を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: 中世以前の軍記・軍書について 2. 近世における出版技術の発展(1) 3. 近世における出版技術の発展(2) 4. 『天正記』と大村由己 5. 太田牛一と小瀬甫庵: 信長の事績 6. 豊臣家のスキャンダル: 『恨の介』と『太閤記』 7. 読み物的刊行軍書の成立: 寛文・延宝という時代 8. 西鶴の武家物: 『武道伝来記』と『武家義理物語』 9. 軍書の発禁: 『元禄版太閤記』とは何か 10. 欧州での秀吉・家康軍記の展開 11. 舌耕文芸の時代: 『太閤真蹟記』と『真書太閤記』 12. 国学の成立と皇国史観: 朝鮮征伐への視点 13. 『絵本太閤記』の成立と絶版 14. 『絵本太閤記』の再版と幕末の軍記ブーム 15. まとめとテスト 				
<p>【テキスト】 プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p>				
<p>【成績評価の方法】 講義中盤に行う小テスト 40 点／まとめのテスト 60 点</p> <p>リアクションペーパー(Webclass を用い、その内容は成績評価には影響しない)を毎回義務付ける。リアクションペーパーを提出しなかった場合、第 15 回に実施するまとめのテストから提出がなかった回数分減点する。(なお、講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること。その場合、減点は行わない)。 講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60 点)は、授業内容の理解度を問う(配点 40 点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点 20 点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求めるが、本講義の予習・復習には大河ドラマ「豊臣兄弟!」の視聴が望ましいことを強調しておきたい。</p>				
<p>【備考欄】 「古典文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「古典文学研究 1」や「古典文学研究 2」を履修しておく必要はない。</p>				

対面授業				13004																
近現代文学講義 3			坂 堅太																	
Study of Modern Japanese Literature 3																				
3~4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 「敗戦」と「占領」を題材とする短篇小説を読みながら、「戦後」という問題系についての理解を深めていく。この作業を通じ、現代日本を批判的に観察する視座を構築することを目的とする。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 インタロダクション①(「戦後」という語について)</td> <td>9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの</td> </tr> <tr> <td>2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)</td> <td>10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗</td> </tr> <tr> <td>3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々</td> <td>11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する</td> </tr> <tr> <td>4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち</td> <td>12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」</td> </tr> <tr> <td>5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ</td> <td>13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ</td> </tr> <tr> <td>6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは</td> <td>14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは</td> <td></td> </tr> </table>					1 インタロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの	2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗	3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する	4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」	5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ	6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー	7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ	8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは	
1 インタロダクション①(「戦後」という語について)	9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの																			
2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)	10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗																			
3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々	11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する																			
4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち	12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」																			
5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ	13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ																			
6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは	14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー																			
7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い	15 まとめ																			
8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは																				
<p>【テキスト】 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p>																				
<p>【参考図書】 講義中に適宜指示する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 小レポート(25%×3回)、定期的に課す小課題(25%)により総合的に判断する。</p>																				
<p>【備考欄】 「近現代文学講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「近現代文学講義 1」や「近現代文学講義 2」を履修しておく必要はない。</p>																				

対面授業			13005
異文化理解と交流 1A		ローレンス ダンテ	
Understanding and Interacting with Other Cultures 1A			
3~4年次	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues.			
【授業内容】 Introduction/American Cultural Issues Introduction to Latinos and US History African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans Quiz and Review Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Quiz and Review Quiz and Review Overall Review/Essay Due			
【テキスト】 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1			
【参考図書】			
【成績評価の方法】 Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20%			
【備考欄】 「異文化理解と交流 1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」は同時履修可。			

対面授業				13006
異文化理解と交流1B			テレサ ストックウェル	
Understanding Other Cultures 1B				
3～4年次	2単位	前期	1コマ	
<p>【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the United States and to improve their overall understanding of intercultural issues. The focus of this class is Native American history and culture. This class partially fulfills the guidelines established in the Department of Practical English diploma and curriculum policies regarding the development of communication skills, globalization and knowledge of global issues, problem discovery, critical thinking, and the acquisition of knowledge about other cultures.</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Understand key historical events that shaped Native American history. - Identify and analyze contributions of groundbreaking Native Americans. - Compare Native American cultural practices with other cultures. - Examine contemporary challenges and revitalization efforts. - Develop critical thinking and intercultural communication skills. 				
<p>【授業内容】 Part 1: Cultural, Place & Community 1 What is culture? 2 Early Native American Cultures & Cultural Regions 3 Regional Research Workshop 4 Group Presentations 1: Land Life & Place 5 Contact with Europeans 6 Forced Displacement & Trail of Tears</p> <p>Part 2: Survival & Representation 7 Reservation Life & Assimilation Policies / Movie: Rez Ball Part 1 8 Native Resistance & Land Rights / Movie: Rez Ball Part 2 9 Native Americans in Media / Movie: Rez Ball Part 3 10 Language, Oral Tradition & Cultural Identity / Movie: Rez Ball Part 4</p> <p>Part 3: Native Voices Today 11 Native Art and Artists 12 Native Music & Musicians / Final Project Preparation 13 Final Project Preparation and consultation 14 Final Group Presentations: Native Voices Today 15 Final Group Presentations / Reflection</p>				
<p>【テキスト】 No required textbook. Readings and materials will be provided.</p>				
<p>【参考図書】 Dunbar-Ortiz, Roxanne. <i>An Indigenous Peoples' History of the United States</i>. Beacon Press 2014. Online resources from Native American organizations, cultural institutions, and archives</p>				
<p>【成績評価の方法】 Participation and Discussion: 25% Reflections and Quizzes: 40% Presentation 1: 15% Final Presentation: 20%</p> <p>Students will write short reflections on the topics covered in the lesson as well as take quizzes to check their understanding of the main issues.</p> <p>Students will receive written and verbal feedback on presentations, reflections, quizzes, and class participation.</p>				
<p>【備考欄】「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」は同時履修可。</p>				

対面授業			13007																
異文化理解と交流1C		福田 耕佑																	
Understanding Other Cultures 1C																			
3～4年次	2単位	前期	1コマ																
<p>【授業の目的】 本授業では、実践英語学科のカリキュラム・ポリシー「実践的な英語の運用能力と幅広い教養を身につけ、グローバル化の進む社会に貢献できる専門知識を涵養する」に基づき、西洋世界と一神教世界を中心にした世界での国際共通語の歴史の変遷について論じ、現代の英語を含むそれぞれの国際共通語がその時代の文化と宗教に与えた影響と周辺世界との交流について講義する。西洋並びに一神文化圏の代表的な国際語の変遷と代表的な宗教の関係について、通時的に、そして歴史の展開にそって順に講義する。とりわけ、多宗教・多民族・多言語・多文化共生について見識を得て考察を深めていくため、それぞれの文化圏と宗教圏の、時に友好的であり時に戦争に彩られることになった交流において、その時代の国際共通語がどのような役割を果たしたのかに焦点をあてて論じていく。</p>																			
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？</td> <td>9 オスマン朝(トルコ)とカージャール朝(イラン):スナナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割</td> </tr> <tr> <td>2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエント世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語</td> <td>10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語</td> </tr> <tr> <td>3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉</td> <td>11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に</td> </tr> <tr> <td>4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳</td> <td>12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋</td> </tr> <tr> <td>5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割</td> <td>13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦</td> </tr> <tr> <td>6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立</td> <td>14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト</td> </tr> <tr> <td>7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語</td> <td>15 全体のフィードバックと人工言語について</td> </tr> <tr> <td>8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳</td> <td></td> </tr> </table>				1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？	9 オスマン朝(トルコ)とカージャール朝(イラン):スナナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割	2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエント世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語	10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語	3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉	11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に	4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳	12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋	5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割	13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦	6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立	14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト	7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語	15 全体のフィードバックと人工言語について	8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳	
1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？	9 オスマン朝(トルコ)とカージャール朝(イラン):スナナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割																		
2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエント世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語	10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語																		
3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉	11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に																		
4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳	12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋																		
5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割	13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦																		
6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立	14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト																		
7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語	15 全体のフィードバックと人工言語について																		
8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳																			
<p>【テキスト】 『山川 詳説世界史図録 第5版(世探 704 準拠)』(東京:山川出版、2023年) なお、授業では板書はせず、講師が用意したPPTで授業をし、授業後に皆さんに共有するものとします。</p>																			
<p>【参考図書】 金澤周作監修『論点・西洋史学』(京都:ミネルヴァ書房、2020年)</p>																			
<p>【成績評価の方法】 (1) 毎授業の初めに行われる前回の授業内容の小テスト(40%)、 (2) 毎授業後に提出するリフレクションシート(20%)、 (3) 第14回の授業で実施される中テスト(40%)で評価します。</p>																			
<p>【備考欄】 「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流1B」・「異文化理解と交流1C」は同時履修可。</p>																			

対面授業				13008
異文化理解と交流2A			D.J.マカントニー	
Canadian Studies 2A				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding.				
【授業内容】 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Industry 9. Canadian Life 10. Symbolism 11. Mid-Term Review 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review				
【テキスト】 No Textbook. All materials will be provided by teacher.				
【参考図書】 None				
【成績評価の方法】 Class Participation 30%, Homework 25%, Presentation 20%, Review 25%				
【備考欄】 「異文化理解と交流」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」を履修しておく必要はない。 「異文化理解と交流2A」・「異文化理解と交流2B」は同時履修可。				

対面授業				13009
異文化理解と交流2B			D.J.マカントニー	
UK and Ireland Studies 2B				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important.				
【授業内容】 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term Review 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Final Review				
【テキスト】 Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5				
【参考図書】 English Dictionary and Japanese-English Dictionary				
【成績評価の方法】 Class Participation 30% Homework 20% Review and Assignments 50%				
【備考欄】 「異文化理解と交流」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」を履修しておく必要はない。 「異文化理解と交流2A」・「異文化理解と交流2B」は同時履修可。				

対面授業			13010	
英語文化文学研究1			雨森 未来	
English Culture and Literature Studies 1				
3~4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p>				
<p>【授業内容】受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: イングランドとセント・ジョージ 2. ルネサンス① 芸術と表象 3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式 4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座 5. イングランドの劇場文化 シンボル(象徴)とアレゴリー(寓意) 6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史 7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル 8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』 9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メント・モリ」 10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装 11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニス商人』と批評の変遷 12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評 13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜 14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論とオリエンタリズム 15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評 				
<p>【テキスト】 なし。適宜、プリントや資料を配布する</p>				
<p>【参考図書】 適宜、指示する</p>				
<p>【成績評価の方法】 提出課題(指定したテンプレートを使用)を毎講義の内容に合わせて課す(75%) 課題の記述内容の出来栄に対する加点(25%) 以上から総合的に評価する WebClass を使って、評価材料の個別の得点を一覧できるようにする</p>				
<p>【備考欄】 本科目の特性を考慮して、履修要覧に記載にかかわらず、欠席回数が4回以下であることを単位取得の要件とする</p>				

対面授業				13011																
英語文化文学研究2			原田 昂																	
Cultural and Literary Studies of the English-speaking World 2																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 主に 19 世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション: 産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. お茶文化</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 意見交換、最終課題と発表の準備</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 最終課題の発表</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table>					1. イントロダクション: 産業革命	9. 科学と産業②	2. 都市化①	10. ナショナルトラスト	3. 都市化②	11. 植民地①	4. 階級①	12. 植民地②	5. 階級②	13. お茶文化	6. 教育①	14. 意見交換、最終課題と発表の準備	7. 教育②	15. 最終課題の発表	8. 科学と産業①	
1. イントロダクション: 産業革命	9. 科学と産業②																			
2. 都市化①	10. ナショナルトラスト																			
3. 都市化②	11. 植民地①																			
4. 階級①	12. 植民地②																			
5. 階級②	13. お茶文化																			
6. 教育①	14. 意見交換、最終課題と発表の準備																			
7. 教育②	15. 最終課題の発表																			
8. 科学と産業①																				
<p>【テキスト】 必要に応じて適宜プリントを配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 授業中に指示する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 事前課題(24%)、事後課題(36%)、ディスカッションでの発言(15%)、最終課題と発表(25%)。 事前課題は、適切に取り組み提出しているかを中心に評価する。 事後課題は、授業の内容を理解し問題に適切に答えているかを中心に評価する。 ディスカッションでの発言は、授業中に設けるディスカッションで自分の意見を発表しディスカッションを有意義な時間するよう貢献できているかを中心に評価する。 最終課題と発表は、与えられた課題を理解し適切に答えられているかを中心に評価する。</p>																				
<p>【備考欄】 「英語文化文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「英語文化文学研究1」を履修しておく必要はない。 毎回事前課題として英語で書かれた文学作品の一部抜粋を読む。辞書を活用しながら英文学作品を読むことができる英語力が求められる。</p>																				

対面授業				13012																
英語文化文学研究 3			苫米地 夏緒																	
English Culture and Literature Studies 3																				
3~4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America</td> </tr> <tr> <td>2. What is Race?</td> <td>10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S.</td> </tr> <tr> <td>3. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>5. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>13. Colorblindness</td> </tr> <tr> <td>6. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td>14. Antiracism in the Current U.S.</td> </tr> <tr> <td>7. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. The Ongoing Struggles of Native Americans</td> <td></td> </tr> </table>					1. Introduction	9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America	2. What is Race?	10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S.	3. The History of Race in the U.S.: Part I	11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I	4. The History of Race in the U.S.: Part II	12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II	5. Whiteness, or: The Raceless Race	13. Colorblindness	6. Blackness in U.S. Popular Culture I	14. Antiracism in the Current U.S.	7. Blackness in U.S. Popular Culture II	15. Conclusion	8. The Ongoing Struggles of Native Americans	
1. Introduction	9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America																			
2. What is Race?	10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S.																			
3. The History of Race in the U.S.: Part I	11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I																			
4. The History of Race in the U.S.: Part II	12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II																			
5. Whiteness, or: The Raceless Race	13. Colorblindness																			
6. Blackness in U.S. Popular Culture I	14. Antiracism in the Current U.S.																			
7. Blackness in U.S. Popular Culture II	15. Conclusion																			
8. The Ongoing Struggles of Native Americans																				
<p>【テキスト】 WebClass にて各回に応じた資料を配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760 Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p>																				
<p>【成績評価の方法】 授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、小レポート: 30%、期末テスト: 40% Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する</p>																				
<p>【備考欄】 「英語文化文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「英語文化文学研究1」や「英語文化文学研究2」を履修しておく必要はない。</p>																				

対面授業				13013																
日本史講義 1A			鈴木 琢郎																	
History of Japan 1A (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
【授業の目的】 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table>					1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)	2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①	3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②	4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行	5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか	6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経	7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ	8 試験答案の書き方	
1 授業の概要説明	9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)																			
2 摂関制の研究史(戦前期)①	10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①																			
3 摂関制の研究史(戦前期)②	11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②																			
4 政所政治論批判(政所下文)①	12 藤原良房による天皇権代行																			
5 政所政治論批判(政所下文)②	13 摂政の成立を如何に考えるか																			
6 政所政治論批判(里内裏)①	14 幼帝陽成と藤原基経																			
7 政所政治論批判(里内裏)②	15 授業のまとめ																			
8 試験答案の書き方																				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年)																				
【成績評価の方法】 学期末の論述試験で評価する。																				
【備考欄】																				

対面授業				13014																
日本史講義 2C			芥米 一志																	
History of Japan 2C (Medieval Japan)																				
3～4年次	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table>					1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②	2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱	3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏	4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭	5 権門体制論について	13 室町時代の文化	6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場	7 顕密体制論について	15 授業のまとめ	8 鎌倉・室町の民衆生活①	
1 日本中世という時代	9 鎌倉・室町の民衆生活②																			
2 東アジア世界の中で	10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱																			
3 治承・寿永の内乱	11 室町幕府と足利氏																			
4 武家政権の本格的展開	12 守護大名の台頭																			
5 権門体制論について	13 室町時代の文化																			
6 荘園制の形成と展開	14 戦国大名の登場																			
7 顕密体制論について	15 授業のまとめ																			
8 鎌倉・室町の民衆生活①																				
【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。																				
【参考図書】 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年)																				
【成績評価の方法】 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。																				
【備考欄】 「日本史講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「日本史講義1A」を履修しておく必要はない。																				

対面授業				13015
日本史講義 3C				三田 智子
History of Japan 3C (Medieval Japan)				
3～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山川の日本史教科書の記述変化について 2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一 3 「社会集団」と身分制社会 4 村請制とは何か 5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動— 6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ— 7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ— 8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業— 9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀— 10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀— 11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村— 12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村— 13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村— 14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村— 15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会— 				
<p>【テキスト】</p> <p>毎回プリントを配布する。</p>				
<p>【参考図書】</p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010) ISBN978-4-8298-1077-4</p>				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。 受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p>				
<p>【備考欄】</p> <p>「日本史講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「日本史講義1A」や「日本史講義2C」を履修しておく必要はない。</p>				

対面授業			13016																			
ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C			小林 亜沙美																			
History of Europe/America 1C (Medieval Europe)																						
3～4年次	2単位	後期	1コマ																			
【授業の目的】 ・中世ヨーロッパ(5世紀半ばから16世紀初め)に生じた様々な出来事の一部は、当時の社会にとって衝撃的であったという理由で、あるいは、各出来事が後世に何らかの大きな影響をおよぼしたという理由で、歴史的に重要な事象とされている。 ・本講義ではそのような事件や事柄に焦点を当て、関与した派閥や人間の動機、事件の前史や背景、事件の経緯や結末などを説明する。 ・各事象・事件が同時代および後の時代に及ぼした影響などにも触れる。																						
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 「中世ヨーロッパ」とは？</td> <td>9 異端者に対する戦い</td> </tr> <tr> <td>2 西ローマ帝国の終わり</td> <td>10 農村・都市</td> </tr> <tr> <td>3 クローヴィスのキリスト教改宗</td> <td>11 教皇庁(前半)</td> </tr> <tr> <td>4 西ローマ帝国「復活」</td> <td>12 教皇庁(後半)・修道院(前半)</td> </tr> <tr> <td>5 中世初期「イングランド」の成立</td> <td>13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半)</td> </tr> <tr> <td>6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」</td> <td>14 帝国国王選挙(後半)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「フランス」の形成</td> </tr> <tr> <td>7 叙任権闘争</td> <td>15 総括</td> </tr> <tr> <td>8 異教徒に対する戦い</td> <td></td> </tr> </table>					1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い	2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市	3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁(前半)	4 西ローマ帝国「復活」	12 教皇庁(後半)・修道院(前半)	5 中世初期「イングランド」の成立	13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半)	6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」	14 帝国国王選挙(後半)	「フランス」の形成		7 叙任権闘争	15 総括	8 異教徒に対する戦い	
1 「中世ヨーロッパ」とは？	9 異端者に対する戦い																					
2 西ローマ帝国の終わり	10 農村・都市																					
3 クローヴィスのキリスト教改宗	11 教皇庁(前半)																					
4 西ローマ帝国「復活」	12 教皇庁(後半)・修道院(前半)																					
5 中世初期「イングランド」の成立	13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半)																					
6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」	14 帝国国王選挙(後半)																					
「フランス」の形成																						
7 叙任権闘争	15 総括																					
8 異教徒に対する戦い																						
【テキスト】 授業で配布する。																						
【参考図書】 ・菊地良生『神聖ローマ帝国(講談社現代新書)』(講談社、2003年、ISBN 978-4061496736) ・ハンス・K.シュルツェ(小倉欣一、河野淳訳)『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配(MINERVA 西洋史ライブラリー96)』(ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428) ・神崎忠明『【新版】ヨーロッパの中世』慶應義塾大学出版会、2022年(ISBN 978-4766428087) ・川原温、堀越宏一『西洋中世史』放送大学教育振興会、2021年(ISBN 978-4595141584) ・ヨーロッパ中世史研究会(編集)『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年(ISBN 978-4130220170) ・その他、必要に応じてWebClassに参考文献を記載する。																						
【成績評価の方法】 ・各授業の小テスト(50%)、最終テスト(50%)。																						
【備考欄】 ・テストは授業で配付したプリントを見ながら、問いに答える筆記形式のもの。 ・フィードバックは次の授業の冒頭に行う。最終テストのフィードバックは休み期間中に個人指導で行う。																						

対面授業				13017																
アジア史講義1A			渡邊 将智																	
History of Asia 1A																				
3～4年次	2単位	後期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の採用</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table>					1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判	2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用	3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判	4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学	5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界	6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論	7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括	8. 家学と注釈学	
1. 前近代中国の史学とその評価	9. 『史通』の史学理論と史料批判																			
2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家	10. 『資治通鑑』と編年体の採用																			
3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出	11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判																			
4. 『史記』の対秦評価と同時代批判	12. 地方志の隆盛と方志学																			
5. 断代史の創出と『漢書』	13. 清朝考証学の世界																			
6. 三国鼎立と『三国志』の正統観	14. 『文史通義』の史学理論																			
7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述	15. 総括																			
8. 家学と注釈学																				
<p>【テキスト】 指定しない。毎回資料を配布する。</p>																				
<p>【参考図書】 授業中に参考文献を紹介する。</p>																				
<p>【成績評価の方法】 レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末) レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。 レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p>																				
<p>【備考欄】</p>																				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏 名			㊟

※出願の際には
履修願に写真は
貼らずに添付し
て提出してくだ
さい。

**写真
貼付
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月 日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年 月 日 生
現住所	〒 ー Tel () ー				
メールアドレス	_____ @ ※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。				

* 履修受付締切日：前期：3月31日(火)まで 後期：9月7日(月)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開 講 期	配 当 学 年	備 考	曜 日 ・ 時 限	履 修 希 望	評 価
対面授業科目										
※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13001	古典文学研究 1	専門	瓦井 裕子	2	前期	2~4	同時履修可	火 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13002	古典文学講義 2	専門	川崎 剛志	2	後期	3~4		木 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13003	古典文学研究 3	専門	竹内 洪介	2	後期	2~4	同時履修可	木 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13004	近現代文学講義 3	専門	坂 堅太	2	前期	3~4		火 13:10~14:40	<input type="checkbox"/>	
13005	異文化理解と交流 1A	専門	L. ダンテ	2	前期	3~4	同時履修可	木 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	
13006	異文化理解と交流 1B	専門	テレサ ストックウェル	2	前期	3~4		水 10:50~12:20	<input type="checkbox"/>	
13007	異文化理解と交流 1C	専門	福田 耕佑	2	前期	3~4		火 9:10~10:40	<input type="checkbox"/>	

No	授 業 科 目	区 分	担当教員	単 位	開講 期	配当 学年	備 考	曜日・時限	履修 希望	評価
対面授業科目 ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓										
13008	異文化理解と交流 2A	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4	同時履修可	金	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13009	異文化理解と交流 2B	専門	D.J.マカントニー	2	後期	3~4		木	9:10~10:40	<input type="checkbox"/>
13010	英語文化文学研究 1	専門	雨森 未来	2	後期	3~4	同時履修可	木	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13011	英語文化文学研究 2	専門	原田 昂	2	前期	3~4		火	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13012	英語文化文学研究 3	専門	苫米地 夏緒	2	後期	3~4		火	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13013	日本史講義 1A	専門	鈴木 琢郎	2	後期	3~4	同時履修可	金	10:50~12:20	<input type="checkbox"/>
13014	日本史講義 2C	専門	苅米 一志	2	前期	3~4		金	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13015	日本史講義 3C	専門	三田 智子	2	後期	3~4		木	10:50~12:20	<input type="checkbox"/>
13016	ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C	専門	小林 亜沙美	2	後期	3~4		水	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>
13017	アジア史講義 1A	専門	渡邊 将智	2	後期	3~4		木	13:10~14:40	<input type="checkbox"/>

写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用	身分証明書用	学生原簿用	計
	1枚	0枚	0枚	1枚